

南会津町議会議長 渡部 康吉 様

総務委員長 芳賀沼 順一

所管事務調査（行政視察）報告書

- 1、参加者 芳賀沼順一 湯田秀春 渡部俊夫 大宅宗吉 渡部忠雄
渡部 東 大竹幸一 児山寿明
事務局 渡部俊夫
- 2、日 程 平成 21 年 9 月 28 日（月）から 30 日（水） 2 泊 3 日
- 3、目 的 （1）綾町における景観形成のとりくみについて
（2）市町村合併後の町づくりについて
①財政運営について
②町づくり計画について
- 4、視察地 宮崎県綾町
熊本県芦北町
- 5、宮崎県綾町
対応者 町長 前田 穰 議長 畠中征郎
建設課 主幹樋口雅俊、係長佐藤道彦
議会事務局長 前田栄一

概要 綾町は前町長が 6 期、現職町長も 5 期と長期の在職に就かれ、町の豊かな森にあるシイ、カシ、ヤブツバキ、サカキ等の照葉樹林を主体とした景観づくりを、前町長時代から 40 年以上かけて取り組み、今では全町民に意識が浸透している。

昭和 50 年には「綾町の自然を守る条例」が制定され、平成 19 年には「綾町照葉の里景観条例」が制定された。

町として「自然との共生」が一番のキーワードになっている。そのため山の上に立つ高压電力送電用の鉄塔撤去問題も大きな話題となった。

町長が元 J A 組合長、議長が元 J A 参事ということもあってか第 1 次産業の農業経営に力を入れ、特に、①施設園芸、②果樹生産、③畜産の 3 つが町の主要産業でビニールハウスを利用した減農薬のキュウリ栽培は町内どこに行っても見受けられた。

町長からの説明の中で、特に力説されていたのは「地域農業の発展のために行政がする事」として、

- ①販売なくして農業の振興はない
- ②何でも作って、何でも売れる農業を目指す

③組合員のための農協でなければならないこと、行政と農協の垣根をつくらず、有機農業の生産拡大計画をつくる（施設は町で作り、農協に運営をさせていることです。）

これからも農業と自然を主体とした観光に力を入れ、1万ヘクタールの照葉樹林をつくり世界遺産登録を目指すとのことでした。

さらに、スポーツ施設を整備してプロのサッカーチームや大学生等の招致を行い、351団体、延べ28,000人が合宿に訪れ、105万人の観光客が来町するまでになり、今後もこの事業を推進していきたいとのことであった。

また、役場職員は職員組合には加入せず、あらゆるイベントに率先して参加するなど、経費節減にも繋がっていると、町長自ら説明されていたことは、頼もしさも感じてきました。

6、熊本県芦北町

対応者 副町長 藤崎正司 議長 藤井公明
企画財政課 井上民男 梶浩之 松本俊造 窪田和彦
議会事務局長 福山勝廣

概要 当町より1年早い平成17年1月に田浦町と芦北町の2町が合併して誕生した町である。はじめは、周辺4市町村の合併計画が2町になってしまった。この2町は地域も狭く、違和感がなかった。

新町の総合計画は基本理念「個性の光る活力あるまちづくり」の下に、目標テーマを「すべては21世紀を担う子供たちのために」として計画、観光では不知火海での漁業と「うたせ船」、そして海水浴場、海浜公園等があり、町の80パーセントを占める山々や畑には甘夏みかんデコポン、玉ねぎ等が特産物品として生産されている。

主な政策として

①住民参加の町づくりを基本に「源氏ボタル保護条例」をつくり、ホテルの住むきれいな水つり

②中学3年生まで医療費の無料化

③町づくり支援事業として、地域住民の主体的な活動を支援

これは町内85地区に担当職員を配置しての町づくりと地域の主体的な事業に50万円を限度に80パーセントを助成する制度（南会津町の事業と類似しています）

平成20年度は65世帯の申請で39事業、796万円の助成がある。

④地元産材での新築に1坪25,000円を補助する（上限200万円）

増築については1坪25,000円を補助する（上限50万円）

この補助制度は、全国でも最高レベルとのこと。

役場職員も相当数削減し、小中学校は20校あったものを小学校7校、中学校4校に統合している。（少子化も進んでいるため）

ここでも当町と同じく合併後は経常収支比率は少し上昇したものの財政力指数は横ばいで実質収支比率は下降している。どこも同じような財政運営だと感じた。

その他、スキー客用のリフトを利用して、ニュージーランド生まれの「ローラリージュ」と「ゾープ」で子供ずれの観光客の誘客に努めていることは特に関心をした。

当町と非常によく似た事業が多かったが、町長、職員、議会、そして町民が一体となり住み良い町づくりに向かっていることを感じました。

所見

今年度の視察研修では、当町とは気候の違いはあるが同じような農山村でありながら、両町とも農産物では特産物を作り、今ある自然を大切に観光に結び、行政と議会が一体となり切磋琢磨しながら長期間にわたり町民の意識を変えて未来に向かって町づくりをしている姿勢と心意気には見習うことがたくさんありました。

また、私たちを迎えるのにも庁舎玄関に「歓迎 南会津町議会」の看板が掲げられているなど、説明者の誠意ある対応を含め大変参考となりました。

当町議会も議会改革の途上ではありますが、議会の場合だけでなく常に議員同士が、さらには執行部と共に住み良い町づくりを目指して議論を重ねることを決意した次第です。